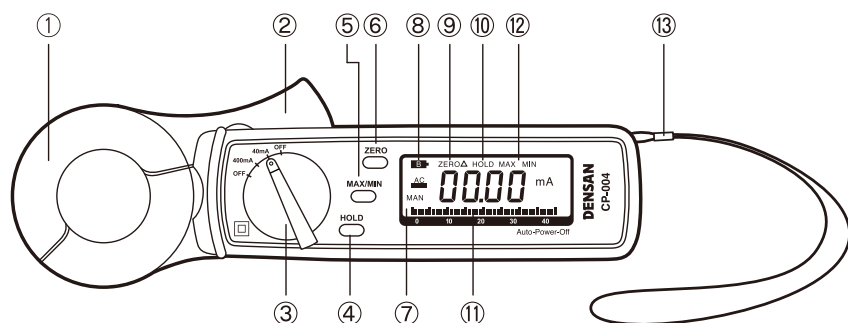


最大測定導体径	30mmφ									
表示	大型液晶画面 4桁									
レンジ切換	2レンジマニュアル									
許容誤差	23℃±5℃ 80%RH以下 <table><tr><td>レンジ</td><td>分解能</td><td>精度</td></tr><tr><td>40mA</td><td>0.01 mA</td><td>±1.5%±3dgts</td></tr><tr><td>400mA</td><td>0.1 mA</td><td>(50/60Hz)</td></tr></table>	レンジ	分解能	精度	40mA	0.01 mA	±1.5%±3dgts	400mA	0.1 mA	(50/60Hz)
レンジ	分解能	精度								
40mA	0.01 mA	±1.5%±3dgts								
400mA	0.1 mA	(50/60Hz)								
データーホールド	「HOLD」キーにより測定値を固定									
電池消耗表示	動作電圧以下のとき「B」マーク点灯									
過負荷表示	デジタル表示が点滅します									
測定電路電圧	AC600V以下									
耐電圧	1500VAC 1分間（ケース間・コア金属部）									
消費電流	10mA（オートパワーオフ・約30分後）									
サンプルレート	2回/秒（液晶画面）、 20回/秒（棒グラフ）									
使用温湿度	-10～50℃ 85%RH以下（但し結露がないこと）									
保存温湿度	-20～60℃ 75%RH以下（但し結露がないこと）									
電源	1.5V 単三電池 2個									
寸法	210mm×62mm×35.6mm									
重量	200g									
付属品	収納ケース、取扱説明書、1.5V単三電池×2									

特長

- 0.01mA単位の微小（漏洩）電流を測定できます
- デジタル& バーグラフのダブル表示でわかりやすい
- 見やすい大型液晶画面
- オートパワーオフ機能付（約30分後）
- 落下防止用ストラップ付
- 比較測定できます（ZERO ボタン）
- 測定中の最大値、最小値を切換表示できます（Max/Min ボタン）
- 測定中の値を保持できます（HOLD ボタン）

各部名称



- ①-クランプヘッド（CT／変流器）：被測定電線、ケーブルなどをクランプする部位
- ②-トリガー：クランプするための押しボタン機構
- ③-ロータリースイッチ（機能選択）：40mA, 400mA, OFFを選択
- ④-データホールドスイッチ：スイッチを押すとデータを保持します。再度押すと消去します。
- ⑤-Max/Min ホールドスイッチ：測定中に最大値、最小値を更新し、表示します。最小表示→最大表示→通常表示→最小表示と押す毎に切り替わります。尚、この場合は「ZERO（比較測定）」機能は利用できません。
- ⑥-ZERO（比較測定）スイッチ：スイッチを押すと0にクリアされます。
- ⑦-LCD（液晶表示板）：最大4桁、399.9まで表示可能。その他に、機能シンボル、小数点、バッテリー電源モニター、バーグラフ等を表示。
- ⑧-Lowバッテリー表示：電池の電圧が機能維持できない程に低下した場合に表示し、電池交換が必要です。
- ⑨-ZERO（比較測定）表示：このマークが表示されている場合は、データがオフセットされていることを示します。
- ⑩-HOLD表示：データホールドスイッチ機能が動作してる時、マークを表示します。
- ⑪-バーグラフ：40分割されており、数値情報に従って動作表示します。
- ⑫-Max/Min表示：ホールド機能が動作してる時にマークを表示します。
- ⑬-ストラップ：不慮の落下を防止する為、手をストラップに通してください。

使用方法

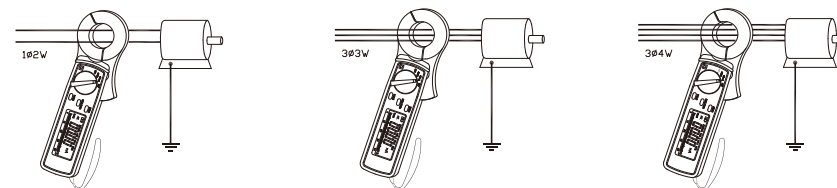
リーク電流測定は通常の電流測定と異なり、（単相2線式）は2本、（単相3線式、三相3線式）は3本すべてをクランプする必要があります。3線式においては接地線も測定する必要があります。

1. AC漏電測定

⚠ 警告 電流を測定するには全ての導線がクランプテストターの端子から離れていることを確かめます。最大値（400mA）を越えた測定はしないでください。電路電圧は600V以下です。

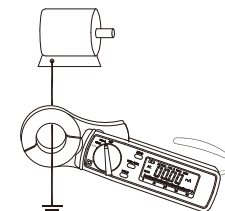
A 不均衡漏電測定

- ①.ロータリースイッチを必要な領域でセットします。
- ②.トリガーを押して先端を開き、2本の線（単相・2線）、3本の線（三相・3線）或いは4本の線（三相・4線）を入れます。クランプヘッドが正しく閉じられていることを確かめます。
- ③.LCD（液晶画面）から測定値を読みとります。



B 接地電線電流測定

- ①.ロータリースイッチを必要な領域でセットします。
- ②.トリガーを押して先端を開き、地面に延びている線を入れます。クランプヘッドが正しく閉じられていることを確かめます。
- ③.LCD（液晶画面）から測定値を読みとります。



2. 比較測定

「ZERO」ボタンは比較測定に使用します。「ZERO」ボタンを押すと現在の読み取り値が“0”になり、「ZERO」マークが液晶に表示されます。それに続く測定は全て“0”に対して相対数値が表示されます。「ZERO」ボタン2秒間押すと解除します。

3. 数値の表示を固定

「HOLD」ボタンを押すとその時の数値が固定されて液晶画面に表示されます。もう一度「HOLD」ボタンを押すと解除します。

4. MAX/MIN 値

「MAX/MIN」ボタンを押すと測定中の最大値・最小値が記録され、アップデート（更新）されます。1回押すと最小値（MIN）、もう一度押すと最大値（MAX）、3回目でもノーマルに戻ります。

5. Auto-Power-Off

電源を切り忘れた時に電池の消耗を防止するため、自動的に約30分で電源が切れます。